

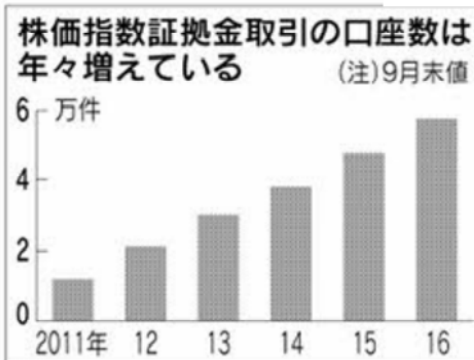
「株価指数証拠金取引」をご存じでしょうか。比較的新しい金融商品ですが、使い勝手のよさが魅力です。独立金融ストラテジストの岡崎良介さんに、7回にわたって特性などを解説してもらいます。



株式投資に「株価指数を売買する」という方法がありません。ある基準に基づいて選ばれた複数の銘柄から算出した株価指数に投資するのです。日経平均株価の場合なら日本を代表する225銘柄に投資するのと同様の効果が得られます。

株価指数に投資する場合、大きな経済の流れや景気の変動を見ながら投資すればよく、分かりやすいという特徴があります。また、代表的な企業を集めた株価指数に投資するので、運用資金に制約がある個人投資家でもプロと同

株価指数証拠金取引のイロハ ① 日経平均などの指数を売買



じょうな分散投資がしやすい方法といえるでしょう。

株価指数に連動する金融商品としては株価指数先物や上場投資信託(ETF)などがよく知られていますが、ここでは東京金融取引所に上場している「株価指数証拠金取引」を紹介します。文字通り、少額からの証拠金を担保に日経平均などの株価指数を取引するものです。

株式投資のような現物資産の受け渡しはなく、売買の価

《おかさき・りょうすけ》87年野村投信(現・野村アセットマネジメント)入社、ファンドマネジャーに。外資系信託銀行などを経て12年に独立。岡崎良介オフィシャルサイト主宰。

格差を決済する「差金決済型」の取引です。また、個別銘柄や先物のようなオークション方式ではなく、複数の金融機関が取引価格を提示する「マーケットメーカー方式」を採用しています。仕組みの詳細は次回以降で解説します。

東京金融取引所には日経平均以外に、海外の株価指数も上場しています。現在では米国の「NYダウ」、ドイツの「DAX」、英国の「FTSE 100」の3種類の海外指数が売買できます。

東京金融取引所の株価指数証拠金取引は「取引所CFD(愛称『くりっく株365』)」とも呼ばれ、取引口座数が年々増えています。